

## イベントスケジュール

オープニング 参加無料 西町特設会場

8月26日(金) 17:00～

安全祈願祭、石割式を行います。

歓迎会 飲食有料 やかげ町家交流館 谷山サロン

8月26日(金) 18:00～

参加作家の歓迎会を開催。参加作家の過去作品の紹介や、今回の作品プランの発表も行います。

 石彫公開制作 見学無料 西町特設会場/やかげ町家交流館南


8月27日(土)～9月8日(木) 8:00～18:00 ※9月2日(金)休

機械工具を使用せず「座」をテーマに作品を制作します。お気軽に話しかけください。

 のみぎり体験 参加無料 西町特設会場

8月27日(土)～9月8日(木) ①9:00～17:00 ※9月2日(金)休

ノミと石頭を使った石彫体験ができます。期間中石屋さんの「気まぐれワークショップ(有料)」開催

 小作品展 見学無料 矢掛ビジターセンター間屋

8月27日(土)～9月8日(木) 9:00～17:00

公開制作参加作家の小作品展です。

 石カフェ 見学無料 西町特設会場

8月27日(土)～9月8日(木) 9:00～17:00 ※9月2日(金)休

矢掛町産出の石のテーブルセットでおくつろぎください。  
石材製品の展示・販売も行います。

クロージング 参加無料 西町特設会場

9月8日(木) 18:00～

完成した作品を制作会場にて披露します。

ザ・のみぎりズム2022作品展 見学無料 本陣通り

9月10日(土)～9月30日(金)

ザ・のみぎりズム2022で制作された作品を展示します。期間中スタンプラリーも実施します。

## 白桜みかげ

約6600万年前の中生代白亜紀末にマグマが冷却凝固して生まれた花崗岩(みかげ石)で、矢掛町内田の大倉山のふもと、下には蜚舞う美山川が流れる山あい、江戸末期ごろより静かに採掘されています。日本、そして海外で産出される良質な花崗岩の中でも、有数の耐久性を持つ、頑固で素直な性格の石で、国内外で建築や彫刻など、広い用途で使用されています。白桜みかげの由来は、薄紫の石英のキャンパスに、白長石が白桜の花びらが風に舞うようにみえることから名づけられました。決して華やかではありませんが、凛とした芯のある白みかげ石です。

井上石材有限会社 井上 太郎



## 備中青みかげ

日本国内では矢掛町にしか存在しない、黒味がかった青緑色の石で、原石の形状は玉石。吸水率が低く水はけが良い、堅くてねばりのある特徴は、長い年月風雨にさらされても光沢を失わず飽きのこない美しさがあり、芸術家の方に好まれ多くの作品が生まれています。主に高級墓石材として。それ以外にも、土木、建築、記念碑、歌碑、オブジェ、その他石工事など、様々な用途に使われています。江戸時代、町中を流れる小田川の対岸から山陽道の旅人を静かに見守り続けてきた石であり、岩石名も閃緑岩(せんりょくがん)なので、大願成就の戦力となり、手にした方々の幸せを見守る石となるようお願いを込めて採石しています。

小野石材工業株式会社 小野 純子



## ACCESS

### 交通アクセス

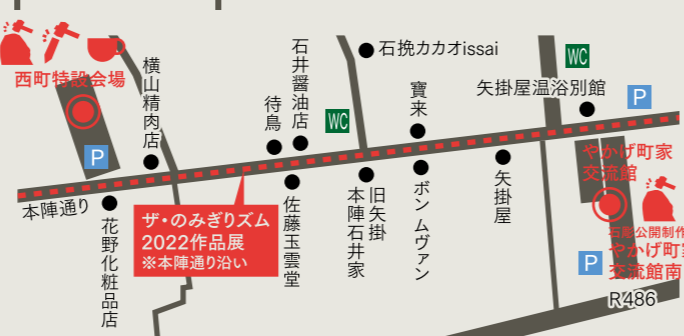


- ・山陽自動車道鴨方ICから約20分/玉島ICから約25分/笠岡ICから約30分
- ・岡山駅から伯備線で清音駅乗換 井原線で矢掛駅まで約50分
- ・福山駅から福塩線で神辺駅乗換 井原線で矢掛駅まで約50分
- ・笠岡から井笠バスで約45分

### 広域マップ



### 会場マップ



主催:のみぎりズム実行委員会/岡山県矢掛町地域創生事業推進協議会/  
一般財団法人矢掛町観光交流推進機構/岡山県  
協賛:井上石材有限会社/小野石材工業株式会社  
後援:矢掛町/矢掛町教育委員会/矢掛町文化協会/備中西商工会/  
一般社団法人やかげまるごと商店街振興会/株式会社やかげ宿/  
矢掛屋/矢掛放送株式会社/山陽新聞社  
協力:矢掛商店街の皆様/こぶな隊  
企画協力:イシャマユウエン合同会社

お問い合わせ  
のみぎりズム実行委員会事務局(やかげDMO)  
〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町矢掛1989番地 矢掛ビジターセンター間屋内  
Tel:0866-83-0001

新型コロナウイルス感染拡大防止策にご協力ください。  
新型コロナウイルス感染症の状況により日程等が変更になる場合がありますのでご了承ください。最新情報については、やかげDMOのホームページをご覧ください。

# THE NOMIGI JURISM





2022.8.27 sat-9.8thu

9名の彫刻家による公開制作

ザ・のみぎりズム 2022<sup>®</sup> 会場:  
・西町特設会場  
・やかげ町家交流館  
・矢掛ビジターセンター間屋

ザ・のみぎりズム 2022作品展 2022.9.10sat-9.30fri 会場:本陣通り  
見学無料

ザ・のみぎりズム2022で制作された作品を展示します。  
期間中スタンプラリーも実施します。

-  石彫公開制作 西町特設会場 やかげ町家交流会館南 見学無料 8月27日(土)～9月8日(木) 8:00～18:00 ※9月2日(金)休  
機械工具を使用せず「座」をテーマに作品を制作します。お気軽に話しかけください。
-  のみぎり体験 西町特設会場 参加無料 8月27日(土)～9月8日(木) 9:00～17:00 ※9月2日(金)休  
ノミと石頭を使った石彫体験ができます。期間中石屋さんの「気まぐれワークショップ(有料)」開催
-  小作品展 矢掛ビジターセンター間屋 見学無料 8月27日(土)～9月8日(木) 9:00～17:00  
公開制作参加作家の小作品展です。
-  石カフェ 西町特設会場 見学無料 8月27日(土)～9月8日(木) 9:00～17:00 ※9月2日(金)休  
矢掛町産出の石のテーブルセットでおくつろぎください。  
石材製品の展示・販売も行います。

[おかやまAIR地域協働事業]  
岡山県では、国内外のアーティストを県内各地に招き、滞在制作を行い、地域の魅力をアートの視点で掘り起こし、岡山県の文化の魅力を国内外に発信しています。



## 矢掛町と実行委員会

矢掛町は、岡山県の南西部に位置し、弥生時代の遺跡や古墳時代の古墳、奈良時代に活躍した吉備真備ゆかりの地など、多くの歴史的・文化的遺産を有しています。特に、江戸時代には参勤交代の宿場町・矢掛宿として人の行き来が多く、人と物資の交流拠点として栄えていました。本陣と脇本陣が、共に国の重要文化財に指定され、健全な状態で旧姿を留めるのは全国でも矢掛のみと言われています。現在では、古民家を再生したショップやホテル、伝統のある醤油店・製麺所・製麩所、個性的なカフェが立ち並び「歴史かおる文化の町」として伝統を大切にしながら、未来への新しい町づくりに力を入れています。

のみぎりズム実行委員会は、芸術家を志す若者に、その想像力やアイデア、行動力を発揮する場を提供する事で、その社会的・経済的な自立を支援していきます。作品鑑賞のみならず、鑑賞者が制作者と出会い語り、気軽に芸術制作に触れ、参加することができるアートイベントを企画・実行することにより、矢掛地域の活性化や賑わいを創出し、芸術と芸術家が芽吹く町「矢掛」を創造します。



## ザ・のみぎりズム 2022

「ザ・のみぎりズム」とは、作品テーマの「座」、制作スタイルの「のみぎり」、そこで生まれる「リズム」、そしてコミュニケーションを大切にする「イズム(主義)」を表すプロジェクトの名称です。2016年に引き続き第2回目の開催となります。

このプロジェクトでは、作家が矢掛町に滞在し公開制作を行います。主な特徴は、学生も含めた若手作家と、中堅・ベテラン作家の招聘。人通りの多い町中での公開制作。機械工具を使用せず作品を仕上げる(基礎加工を除く)。町内産出の白桜みかげと備中青みかげを使用。期間中を通した石彫体験コーナーの開設。これらにより、世代を超えた作家や鑑賞者との密なコミュニケーション、芸術・石彫に対する認知・興味の拡大、芸術家支援を試みます。どこにでもいるような若者や中年が、石を彫って世界で一つの「ザ」を創造しています。芸術や芸術家は特別でも難解でもありません。気軽に話しかけ、石に触れてください。

作家や作品が皆様に愛され、このプロジェクトが、皆様に求められ矢掛の「リズム・イズム」として根付く事を望みます。

## のみぎりとは

「のみぎり」の文字を見ると、一般的に時候の挨拶「～のみぎり」を連想するでしょう。しかし、彫刻家や石材業界の人の多くは、「ノミ切り」を思い起こします。これは、石をノミで彫る行為や、加工における仕上げの事を指します。機械工具が発達する以前は、この技術により加工する他ありませんでした。石の彫刻作品において、基本的かつ重要な技術のひとつですが、時間と体力を要する事などから、熱心に指導する美術大学は少なくなっています。また、石彫家の中でも「ノミ切り」を多用する作家は少ないと言って良いでしょう。石材業界においても、その加工の大部分を中国に委託するようになって久しく、「ノミ切り」をはじめ高い技術を持った職人でも、それを活かすことができなくなっています。

話は戻りますが、時候の挨拶の「のみぎり」は「砌」と書くそうです。語源を辿ると意味はいろいろありますが、石を採石する場も「石切り場」と呼ぶので、ただならぬ深い縁を感じます。晩夏のみぎり、石と対峙する彫刻家の姿に目を向け、心地よい槌音に耳を傾けて、作品制作の過程をお楽しみいただければ幸いです。

## 石彫シンポジウム

一般的な「シンポジウム(symposium)」は、特定のテーマについて、立場や意見の異なる専門家を数名呼び、進行役のもと、聴衆の前で公開討論を行うものです。一方、「彫刻シンポジウム」は彫刻家が特定の地に集まり、寝食を共にしながら、コミュニケーションを深め、一定の期間作品を公開制作する事を指します。完成作品はその地域に展示、あるいは恒久的に設置される事が慣例となっています。

1959年、オーストリアの彫刻家カール・ブランテル氏によって発案された彫刻シンポジウムは、サンクト・マルガレーテンにおいて、欧州7ヵ国11名の彫刻家を招聘し、世界で初めて開催されました。そしてそれは、センセーショナルなイベントとして、強い反響と関心呼び、参加者を核とし、瞬間に世界中に広がりました。日本においても、1963年神奈川県真鶴で東京五輪のプレイベントとして、「世界近代彫刻シンポジウム」が海外6名、国内6名の彫刻家を招聘し開催されました。その後、景気の後押しや文化振興の高まりなどから、各地に拡散していきました。特に石材を素材とした「石彫シンポジウム」が数多く開催され、作品は開催地に野外彫刻として恒久設置されて行き、彫刻公害という言葉が生まれる地域も出るほどでした。しかしながら、日本経済の停滞と期を同じく、彫刻シンポジウムは少なくなりました。経済のみならず、彫刻作品に対する時代のニーズが変わったとも考えられます。現在、継続的に開催されている日本国内の「石彫シンポジウム」は少なく、参加者も数名と小規模となっています。

今回のプロジェクトは、彫刻シンポジウムの原点を顧みつつ、「石彫シンポジウム」或いは作家や作品の在り方を問い直す事、コミュニケーションにより生まれる発見・創造などが、それぞれの作家の新たな一歩となるきっかけになればと企画しました。

のみぎりズム実行委員会 実行委員長 松村晃泰

## 参加作家



石彫公開制作 | 西町特設会場・やかげ町家交流館南 | 8月27日(土)~9月8日(木) 8:00~18:00 ※9月2日(金)休 機械工具を使用せず「座」をテーマに作品を制作します。お気軽に話しかけてください。

**伊藤 銀 ITO Gin**  
 1997 石川県生まれ 沖縄県在住  
 2022 沖縄県立芸術大学 修士課程1年在学  
 2018 グループ展「繋ぐ、結ぶ展」  
 2019 ジョン万賞 (2020も受賞)  
 2020 とよはら未来彫刻展 とよはら賞  
 2021 第42期国際瀧富士美術賞 優秀賞  
 2022 台湾・日本グループ展「生々流転」

**竹迫 界斗 TAKESAKO Kaito**  
 2000 北海道生まれ 山形県在住  
 2022 東北芸術工科大学大学院 修士課程1年在学  
 2020 グループ展「愛、告白」悠創館(山形県)  
 2021 グループ展「弁当」悠創館(山形県)  
 公募展「第105回記念二科展」入選 国立新美術館(東京都)  
 2022 東北芸術工科大学卒業 / 修了研究・制作展 優秀賞 東北芸術工科大学(山形県) グループ展「Insight II 2022」GALLERY ART POINT(東京都)

**平敷 傑 HESHIKI Suguru**  
 1988 沖縄県生まれ 沖縄県在住  
 2017 沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科環境造形専攻 修了  
 2018 混炒黒潮 現代美術交流展 個展「平敷傑 彫刻展」  
 2022 沖展 彫刻部門  
 2022 個我の形象展



**大間光記 OHMA Mitsunori**  
 1981 愛知県生まれ 岡山県在住  
 2007 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科彫刻専攻修了  
 2010 "SUCULTURA VIVA"シンポジウム(イタリア)  
 2019 岡山現代彫刻の断片 vol.3(奈義町現代美術館/岡山)  
 2019 美作三湯芸術温度2019(奥津温泉 花美人の里/岡山)  
 2020 第13回 岡山県新進美術家育成I氏賞選考作品展(岡山)  
 2021 やかげ?石彫?なんそれ!展(岡山 矢掛町)

**西川 なつみ NISHIKAWA Natsumi**  
 1998 静岡県生まれ 神奈川県在住  
 2022 女子美術大学大学院美術研究科美術専攻立休芸術領域 修士課程2年在学  
 2019 新進アーティスト作品展 vol.18 静岡  
 2020 「石彫」個展 女子美術大学  
 2022 「Re-Sculpt」グループ展 神奈川  
 2022 「spice and space」グループ展 神奈川

**松村 晃泰 MATSUMURA Teruyasu**  
 1974 京都府生まれ 岡山県在住  
 1999 大阪芸術大学大学院(彫刻)修了  
 1997 「未来に生きるMOA計画」(岡山市 犬島)  
 2007 第1回国際彫刻シンポジウムロルダン(14) (アルゼンチン ロルダン)  
 2016 ザ・のみぎりズム2016(主催・参加)(岡山県 矢掛町)  
 2019 国際雪像彫刻チャンピオンシップ(アメリカ合衆国 コロラド州)  
 2021 松村晃泰展 -視線の行方- (岡山市 天神山文化プラザ)



**片岡 幸夫 KATAOKA Yukio**  
 1953 岡山県生まれ 岡山県在住  
 1977 東京造形大学彫刻科卒業  
 1981 倉瀬戸内現代美術展  
 1987 漁敷まちかど彫刻展  
 2010 国民文化祭おかやま  
 2014 橋の浦 de ART  
 2021 やかげ?石彫?なんそれ!展

**巾崎 知佳 HABASAKI Chika**  
 1992 東京都生まれ 東京都在住  
 2017 女子美術大学大学院修士課程美術専攻立休芸術研究領域修了  
 2020 第16回KAJIMA彫刻コンクール 模型入選  
 2020 女子美術大学 助手展2020 オンライン開催  
 2021 Beyond the stone 天王洲セントラルタワー1F・アートホール  
 2021 会社から地域へまるとギャラリー(山陽印刷株式会社 屋外)  
 2021 緑と道の美術館in黒川 2021

**宮内 宏 MIYAUCHI Hiroshi**  
 1956 愛媛県生まれ 愛媛県在住  
 1980 武蔵野美術大学彫刻科卒業  
 1999 スイス、ジュラ州セーブル彫刻シンポジウムにて制作  
 2007 エジプト・マース国際彫刻シンポジウムにて制作  
 2010 インド・グワリオールITM大学内国際彫刻シンポジウムにて制作  
 2013 アメリカ合衆国コロラド州大理石ワークショップ参加制作  
 2020 サウジアラビ文科省主催国際彫刻シンポジウム参加制作

